

(写)

要 望 書

平成27年8月20日

一般社団法人 群馬県建設業協会

長年続いた公共工事当初予算の減額を止め、安定化して頂き衷心より感謝いたします。

この下げ止まりにより年々進む建設従事者の高齢化対策等、建設業界全体が先を見通した担い手対策に考えが及ぶようになったところです。

しかしながら、5月に入って当会会員間で県内公共工事の発注量が極端に減少していることが心配され始めました。

このため、当会会員の本年度第一四半期の受注状況（道路、農林水産、治山・治水など地域密着型工事）を調査したところ、対前年度に比べて、請負金額が▲16.5%と言う結果でした。

また、本年7月、会員を対象に実施した「緊急アンケート調査」で、発注機関が発表した「公共工事の発注見通し」等から今年度の公共工事受注見込み額を問うたところ、会員の75%が減少する見込みであるという厳しい結果でした。

この見込みの通り進むと、地域に根差し、除雪や台風、集中豪雨など激甚化する自然災害の応急対策の責務を負っている私たち地方の建設業者の経営は、一層厳しい状況になります。

ご賢察の通り、地方の建設業者が国民から期待される除雪や自然災害に迅速に対応するには、本業である建設業の経営を立て直し、人員や機械を維持することが不可欠です。

このため、会員各自が経営改善を誓うとともに、国土強靱化を進める為、次の事項を要望致します。

記

- 1 補正予算の早期編成
- 2 「地方創生」、「国土強靱化」を踏まえた平成28年度公共工事当初予算の増額
- 3 地域において国土強靱化を担う建設業者の経営再建の支援

平成27年 8月 20日

一般社団法人群馬県建設業協会

会 長 (沼田支部長) 青 柳 剛

副会長 岩 井 重 夫

副会長 篠 原 宗 應

副会長 (前橋支部長) 三 原 豊 章

副会長 (桐生支部長) 山 藤 浩 一

副会長 (高崎支部長) 関 口 功

館林支部長 原 初 次

伊勢崎支部長 萩 原 健 次

富岡支部長 諸 星 和 夫

藤岡支部長 塚 本 定 夫

渋川支部長 齋 藤 隆 行

吾妻支部長 池 原 純

太田支部長 守 屋 清

安中支部長 小 板 橋 公 治